

---

**証券コード6859**

**2020年度(2021年3月期)  
第1四半期決算および通期業績予想について**

**2020年8月25日  
エスペック株式会社**

# 目次

---

**2020年度第1四半期 決算概要**

**2020年度 通期業績予想**

**参考資料**

---

# 2020年度第1四半期 決算概要

※2020年度よりESPEC EUROPE(ドイツ)とESPEC ENGINEERING (THAILAND)を連結の範囲に含めています。

# 2020年度第1四半期 決算概要

2020年度第1四半期は新型コロナウイルス感染拡大による  
世界経済停滞の影響を受け、前年同期比で減収減益

	前年同期比
■受注高	× 顧客の投資計画の見直しや先送り、商談活動の停滞などにより、主に装置事業が下回り、減少
■売上高	× 装置事業(環境試験器・エナジーデバイス装置)とサービス事業が下回り、減少
■営業利益	× 主に売上高の減少により営業損失
■経常利益 四半期純利益※	× 営業赤字により経常損失、四半期純損失

※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 損益の状況

(百万円)

	2019年度 1Q 実績	2020年度 1Q 実績	前年同期比
受注高	10,393	8,231	△20.8%
売上高	8,031	6,877	△14.4%
売上原価 (原価率)	5,170 (64.4%)	4,589 (66.7%)	△11.2% 2.3pt悪化
売上総利益	2,860	2,288	△20.0%
販管費	2,582	2,448	△5.2%
営業利益	278	△159	—
経常利益	397	△87	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	240	△173	—

# セグメント別の損益の状況

(百万円)

セグメント		2019年度 1Q 実績	2020年度 1Q 実績	前年同期比
装置事業	受注高	8,599	6,534	△24.0%
	売上高	6,543	5,449	△16.7%
	営業利益	286	△22	—
サービス事業	受注高	1,591	1,470	△7.6%
	売上高	1,387	1,062	△23.4%
	営業利益	46	△125	—
その他事業	受注高	260	281	8.1%
	売上高	151	422	178.7%
	営業利益	△55	△12	—
連結消去	受注高	△57	△54	—
	売上高	△51	△56	—
	営業利益	0	0	—
計	受注高	10,393	8,231	△20.8%
	売上高	8,031	6,877	△14.4%
	営業利益	278	△159	—

# 装置事業セグメント

## 環境試験器

- 国内では、顧客の投資抑制傾向に加え、営業活動の制約により商談が停滞し、自動車、エレクトロニクス全般で汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに減少
- 海外では、中国では経済活動の正常化が進んでおり売上高は前年同四半期並みとなったがその他のエリアは経済活動が停滞しており減少

## エネルギーデバイス装置

- 自動車市場において投資計画の見直し・先送りが継続しており、二次電池評価装置、燃料電池評価装置いずれも低調に推移し、受注高・売上高ともに減少

## 半導体関連装置

- 受注高は減少したが、売上高は、前期に受注したバーンインシステム・チャンバーの売上計上があり増加

# 装置事業セグメント

(百万円)

	2019年度 1Q 実績	2020年度 1Q 実績	前年同期比
受注高	8,599	6,534	△24.0%
売上高	6,543	5,449	△16.7%
営業利益 [利益率(%)]	286 [4.4%]	△22 [△0.4%]	—

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2019年度 1Q 実績	2020年度 1Q 実績	前年同期比
受注高	1,591	1,470	△7.6%
売上高	1,387	1,062	△23.4%
営業利益 [利益率(%)]	46 [3.4%]	△125 [△11.8%]	—

## アフターサービス・エンジニアリング

- 活動の制約により、受注高は前年同四半期並みとなったが売上高は減少

## 受託試験・レンタル

- 顧客の投資抑制傾向により受託試験が低調に推移し、受注高・売上高ともに減少

# その他事業セグメント

(百万円)

	2019年度 1Q 実績	2020年度 1Q 実績	前年同期比
受注高	260	281	8.1%
売上高	151	422	178.7%
営業利益 [利益率(%)]	△55 [△36.7%]	△12 [△3.0%]	—

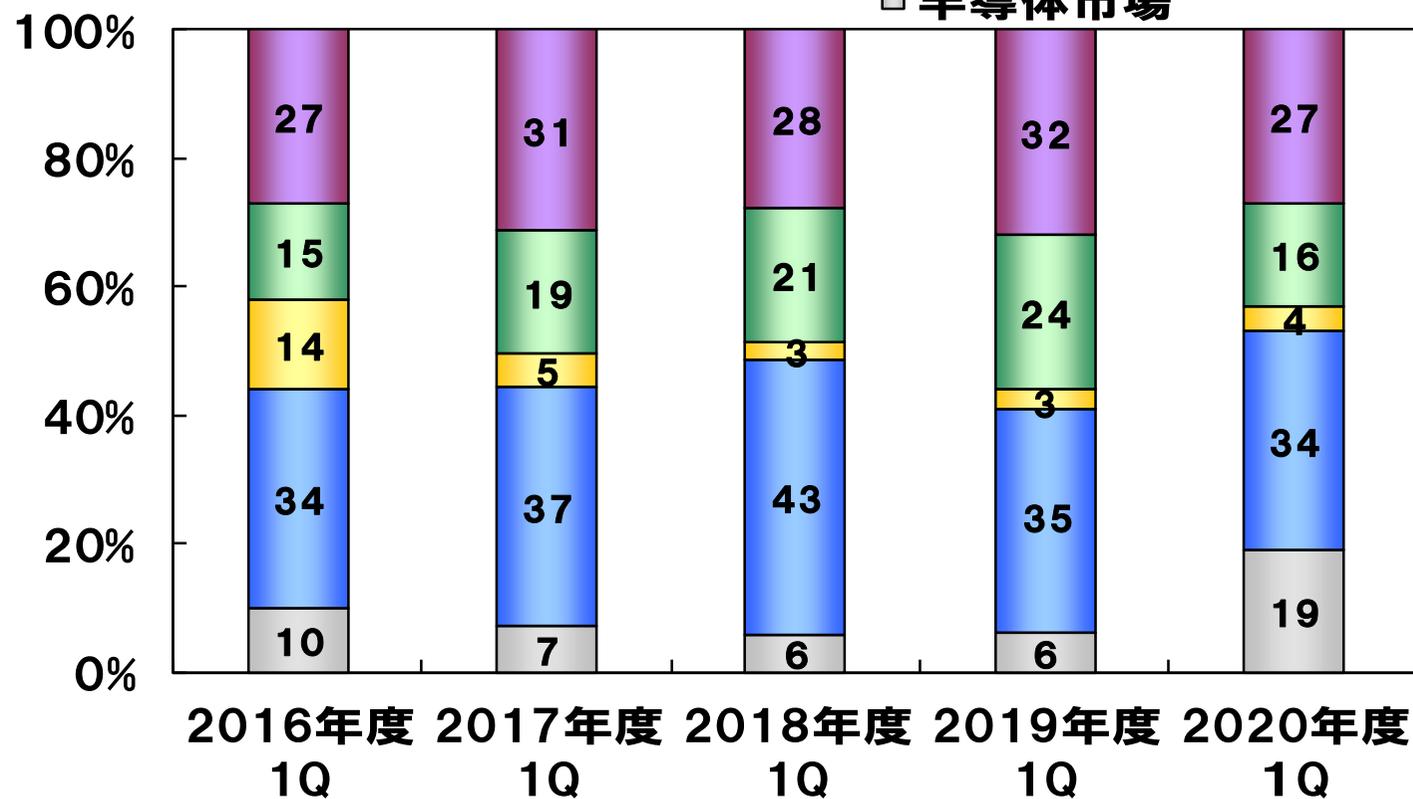
## 環境保全・植物育成装置

- 植物工場が好調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに増加

# 市場別売上構成比

単体(装置事業)

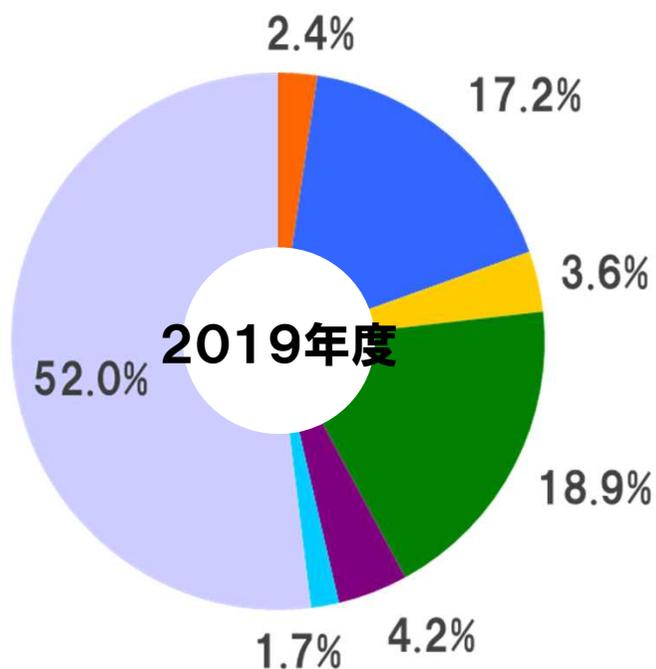
- その他市場
- 自動車市場
- フラットパネルディスプレイ市場
- 電子部品・電子機器市場
- 半導体市場



# 地域別売上構成比

2019年度1Q

海外売上高比率:48.0%

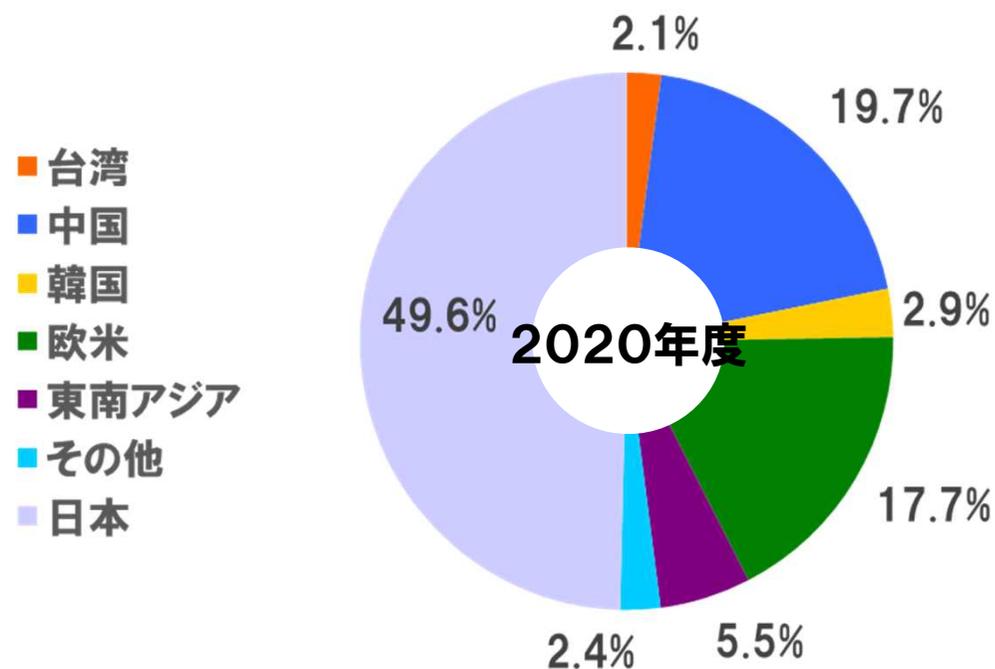


計 8,031百万円

(海外売上高:3,858百万円)

2020年度1Q

海外売上高比率:50.4%



計 6,877百万円

(海外売上高:3,466百万円)

---

# 2020年度 通期業績予想

# 2020年度通期予想について

(2019年度決算説明資料 再掲)

## 基本的な考え方

今年度は、大幅な受注の落ち込みを想定しながら、成長分野への戦略的取り組みを実行する

- ・固定費の抑制と原価率の改善

- ・成長分野への取り組み強化

5G、IoTはさらに必要性が高まる。また、自動車の自動化、電動化も顧客の投資は早期に回復する。

- ・健全な財務体質を活かし、戦略投資は実行する

さらなる競争の激化を覚悟し、受注獲得を最優先に全力で取り組んでまいります

5G、IoT関連分野への取り組みを強化し、戦略投資も計画どおり実行してまいります

# 2020年度 通期業績予想

(百万円)

	2019年度	2020年度 予想			
	通期	上期	下期	通期	前期比
受注高	43,571	16,500	18,500	35,000	△19.7%
売上高	42,443	17,500	19,500	37,000	△12.8%
売上総利益 [利益率(%)]	14,719 [34.7%]	5,630 [32.2%]	6,470 [33.2%]	12,100 [32.7%]	△17.8% [△2.0pt]
販管費 【販管费率(%)】	10,976 [25.9%]	5,230 [29.9%]	5,470 [28.1%]	10,700 [28.9%]	△2.5% [3.0pt]
営業利益 [利益率(%)]	3,742 [8.8%]	400 [2.3%]	1,000 [5.1%]	1,400 [3.8%]	△62.6%
経常利益 [利益率(%)]	3,933 [9.3%]	450 [2.6%]	1,050 [5.4%]	1,500 [4.1%]	△61.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 [利益率(%)]	2,818 [6.6%]	250 [1.4%]	750 [3.8%]	1,000 [2.7%]	△64.5%
設備投資額	2,671	700	600	1,300	△51.3%
減価償却費	891	500	500	1,000	12.2%
研究開発費	1,169	650	450	1,100	△5.9%
1株当たり当期純利益 (円)	123.26	10.93	32.80	43.73	△64.5%

# 2020年度想定為替レート

## ■想定為替レート

	2018年度	2019年度		2020年度
	通期実績	上期実績	通期実績	通期想定
USD(円)	110.40	108.60	108.72	105

※参考：為替感応度(対ドル1円円高)

売上高 131百万円減少

営業利益 22百万円減少

# 通期の事業環境見通し

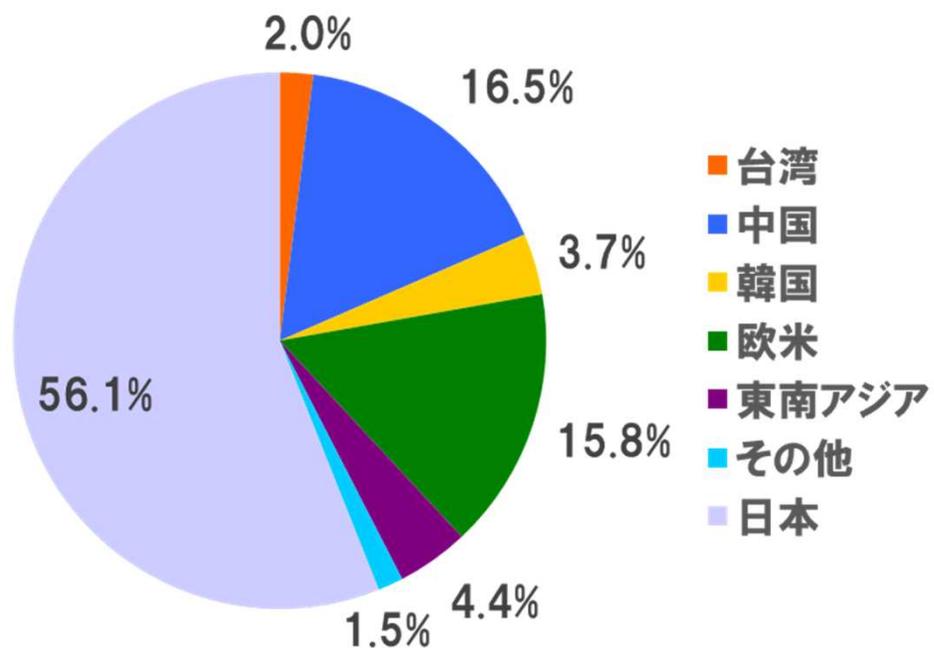
- ・中国は回復基調となるが、その他のエリアは厳しい状況が継続すると予想
- ・経済減速の影響は続くが、5GやIoT、自動運転など先端技術分野は第3四半期以降の緩やかな回復を見込む

装置事業	環境試験器	<p>日本 : 先端技術分野は第3四半期以降、回復に向かうが、その他の分野は回復に時間がかかると予想</p> <p>中国 : 米中対立の影響や外需の回復など不透明感は強いが、5G、IoT関連を中心に前年並みの水準に戻ると予想</p> <p>ASEAN : 第3四半期以降、回復に向かうと予想</p> <p>米国 : 厳しい状況が継続しているが第4四半期以降は緩やかに回復すると予想</p> <p>欧州 : 自動車市場は年度内に回復に向かい動き出すと予想</p>
	エナジーデバイス装置	二次電池評価装置、燃料電池評価装置ともに21年度以降の回復を見込む
	半導体関連装置	5G・IoT関連での需要拡大に期待するが自動車向けは不透明なため見通しが困難であり、受注は前年を下回ると予想
サービス事業	アフター・エンジ 受託試験・レンタル	<p>アフター・エンジ : 活動制限により上期は受注がやや低調に推移するが、下期以降回復し前年並みの水準となると予想</p> <p>受託試験 : 先端技術分野は第3四半期以降、回復に向かうと予想するがその他の分野は回復に時間がかかる</p>
その他事業	環境保全 植物育成装置	前年から事業環境に大きな変動はない見込み

# <参考> 地域別売上構成比(イメージ)

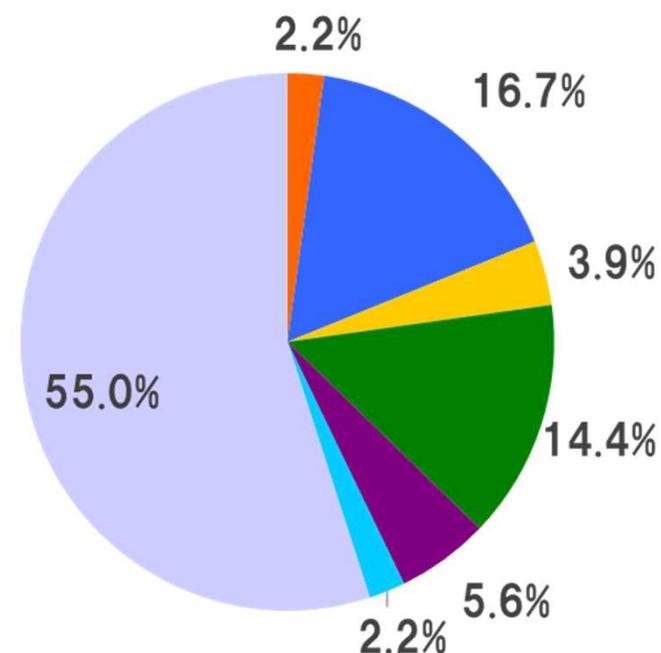
2019年度実績

連結 424億円



2020年度予想

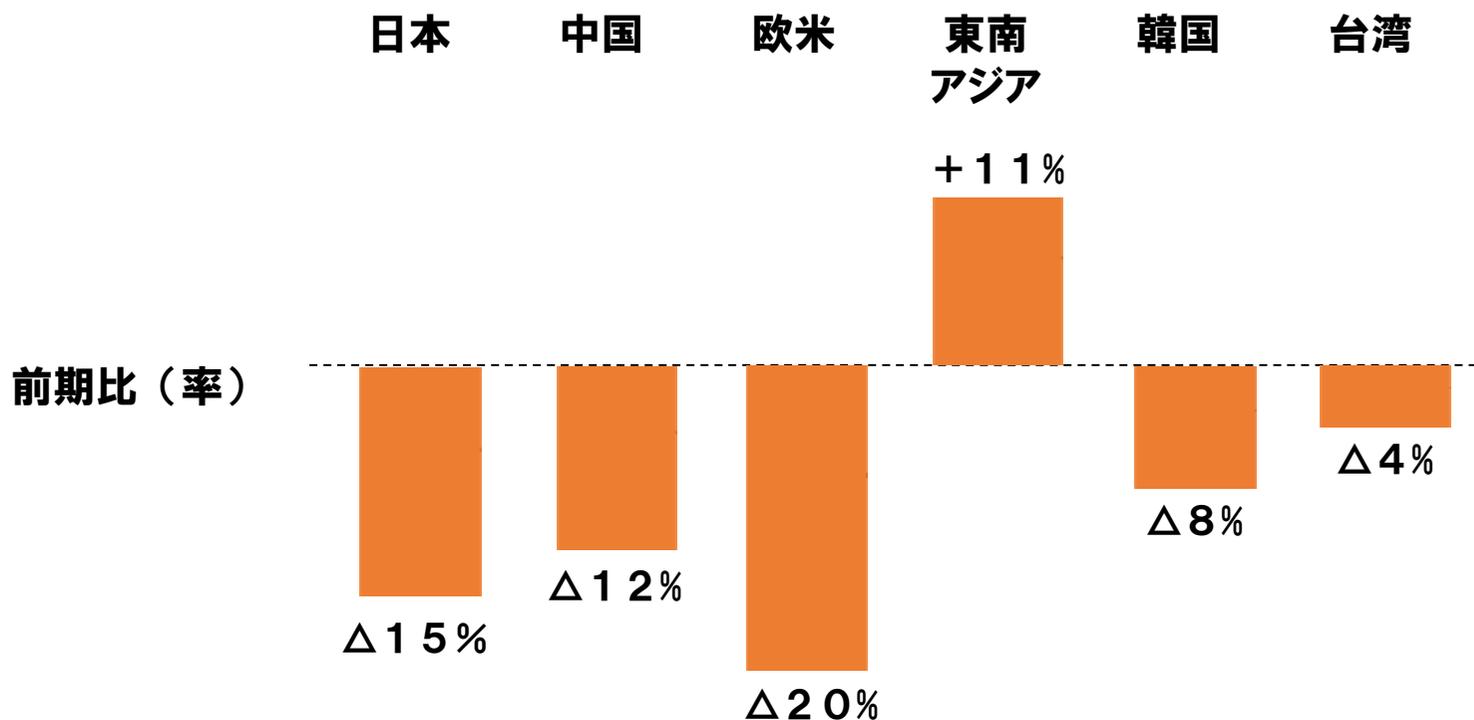
連結 370億円(予想)



※今年度業績予想をご理解いただきやすくするために、現在入手可能な情報に基づき前期比のイメージを作成したものです。その実現を約束するものではありません。

# <参考>2020年度地域別売上予想(前期比イメージ)

連結



※今年度業績予想をご理解いただきやすくするために、現在入手可能な情報に基づき前期比のイメージを作成したものです。その実現を約束するものではありません。

# セグメント別の業績予想

(百万円)

セグメント		2019年度 通期実績	2020年度予想			
			上期	下期	通期	前期比
装置事業	受注高	34,682	13,100	14,600	27,700	△20.1%
	売上高	34,361	14,000	15,200	29,200	△15.0%
	営業利益	3,041	450	600	1,050	△65.5%
サービス事業	受注高	6,378	2,900	3,100	6,000	△5.9%
	売上高	6,459	2,600	3,400	6,000	△7.1%
	営業利益	646	△50	400	350	△45.8%
その他事業	受注高	2,715	600	900	1,500	△44.8%
	売上高	1,831	1,000	1,000	2,000	9.2%
	営業利益	49	0	0	0	—
連結消去	受注高	△203	△100	△100	△200	—
	売上高	△208	△100	△100	△200	—
	営業利益	4	0	0	0	—
計	受注高	43,571	16,500	18,500	35,000	△19.7%
	売上高	42,443	17,500	19,500	37,000	△12.8%
	営業利益	3,742	400	1,000	1,400	△62.6%

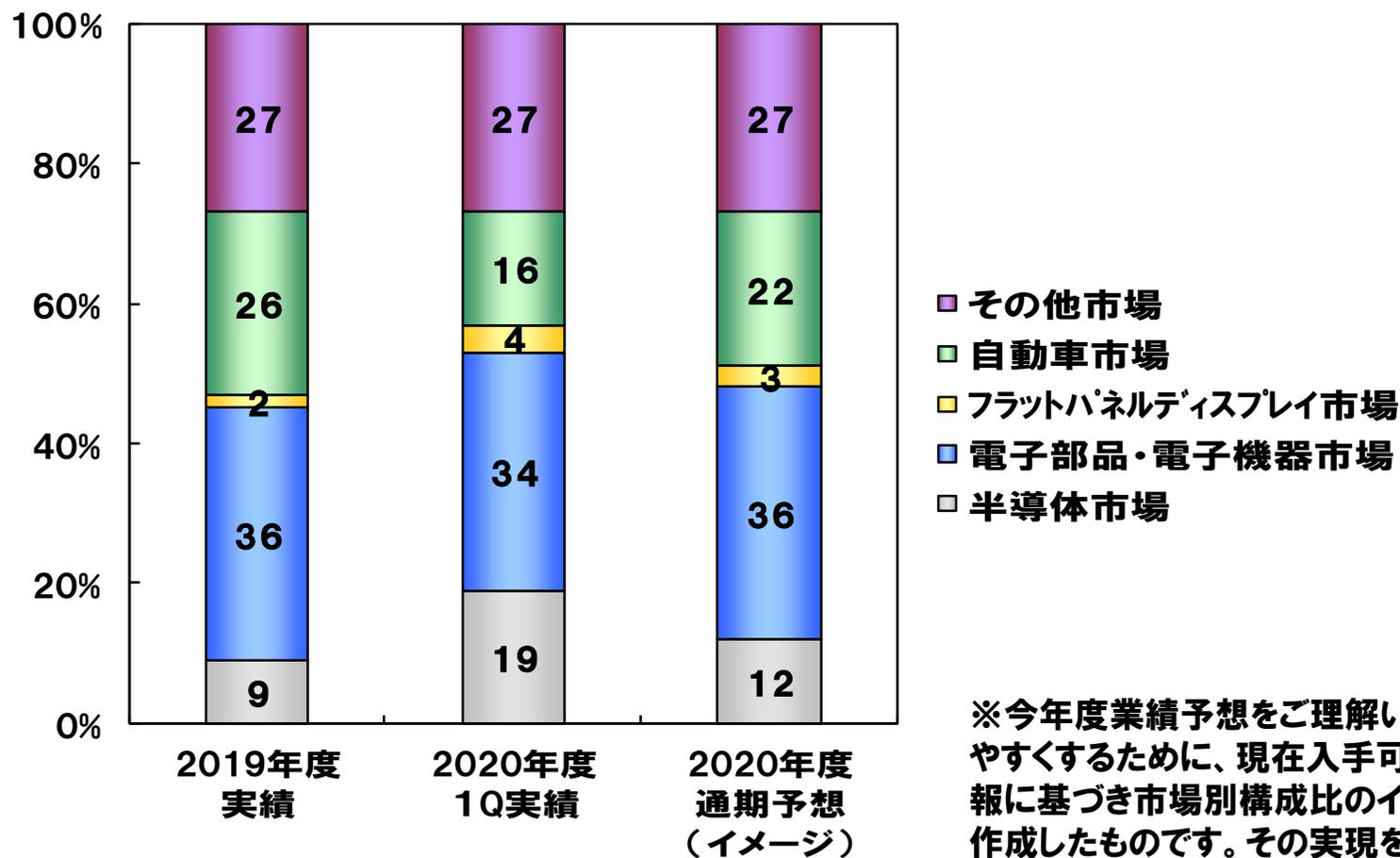
# 装置事業セグメント

(百万円)

	2019年度	2020年度			
	通期 実績	予想			
		上期	下期	通期	前期比
受注高	34,682	13,100	14,600	27,700	△20.1%
売上高	34,361	14,000	15,200	29,200	△15.0%
営業利益 [利益率(%)]	3,041 [8.9%]	450 [3.2%]	600 [3.9%]	1,050 [3.6%]	△65.5%

# ＜参考＞市場別 売上構成比(イメージ)

## 単体(装置事業)



※今年度業績予想をご理解いただきやすくするために、現在入手可能な情報に基づき市場別構成比のイメージを作成したものです。その実現を約束するものではありません。

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2019年度	2020年度			
	通期 実績	予想			
		上期	下期	通期	前期比
受注高	6,378	2,900	3,100	6,000	△5.9%
売上高	6,459	2,600	3,400	6,000	△7.1%
営業利益 [利益率 (%) ]	646 [10.0%]	△50 [△1.9%]	400 [11.8%]	350 [5.8%]	△45.8%

# その他事業セグメント

(百万円)

	2019年度	2020年度			
	通期 実績	予想			
		上期	下期	通期	前期比
受注高	2,715	600	900	1,500	△44.8%
売上高	1,831	1,000	1,000	2,000	9.2%
営業利益 [利益率(%)]	49 [2.7%]	0 [0.0%]	0 [0.0%]	0 [0.0%]	—

# 2020年度の取り組み①（2019年度決算説明資料 再掲）

## 5G関連市場の深耕

- ・デジタルインフラ分野(基地局、データセンターなど)や  
端末機器、デバイス向けカスタム製品の拡充
- ・グループ会社連携によるグローバルマーケティングと販売拡大

## 中国事業の強化

- ・現地販売子会社のマーケティング強化
- ・設計・生産能力の拡充による競争力強化

## 欧州事業の強化

- ・オンライン営業によるユーザー開拓
- ・設計機能の強化による受注獲得
- ・欧州市場向け製品力の強化

# 2020年度の取り組み②（2019年度決算説明資料 再掲）

## 受託試験事業の新たなニーズへの対応強化

- ・各種国際規格の適合範囲の拡大
- ・定置型電池の開発試験や車載用電池の航空機輸送試験ニーズへの対応
- ・医療機器(試薬・手術器具)の国際規格試験ニーズへの対応
- ・受託試験在宅オンラインサービスの開始

## 新規事業の推進

- ・バイオ医薬品や医療機器分野の開拓
- ・マテリアル分野の開拓
- ・減圧低温加熱調理器のモデルチェンジによる顧客開拓(食品機械分野)
- ・新環境因子開発による新たな事業の展開



医療分野向け  
輸送環境試験装置  
(2020年3月発売)



マテリアル分野向け  
スポット冷却加熱装置  
(2019年12月発売)

# 投資計画

戦略投資	5億円	研究開発費	11億円
通常投資	8億円		
設備投資 合計	13億円		

## ■主な設備投資

- ・全天候ラボ(大型複合環境試験装置)の設置
- ・カスタム製品 生産のスマート化
- ・アフターサービス事業の新サービスメニューの開発

## ■主な研究開発

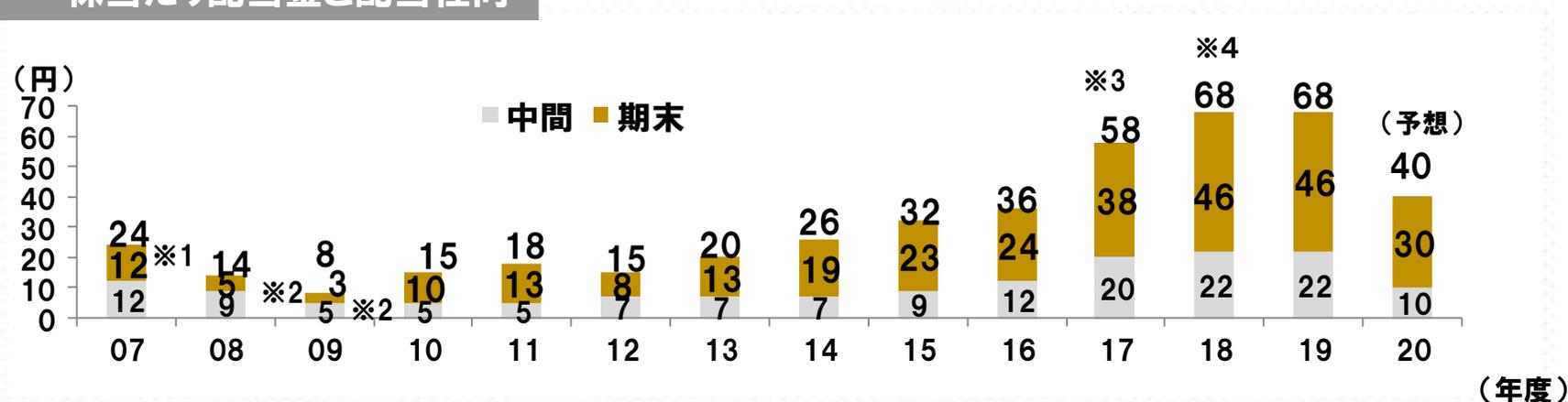
- ・5G関連装置の開発
- ・大型試験装置の拡充
- ・新規分野向け製品の開発

# 2020年度 配当予想

## 利益配分に関する基本方針

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題と認識するとともに、持続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本であると考えております。配当につきましては、継続性と連結配当性向を勘案して決定しております。

## 一株当たり配当金と配当性向



## 配当性向

47% — — 21% 22% 29% 30% 29% 31% 37% 40% 36%\*4 55% 92%

※1.2007年度は創業60周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2008・2009年度は当期純損失ながら配当を実施

※3.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※4.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

## 企業理念「THE ESPEC MIND」のもと、持続的成長を目指す

### E(環境)

- ①第7次環境中期計画の推進
- ②製品による環境負荷低減への貢献
- ③生物多様性保全活動の推進

### S(社会)

- ①多様な人材育成・成長支援
- ②働き方改革の推進

### G(企業統治)

- ①本社機能の整備、ガバナンスの強化
- ②ステークホルダーとの良好なコミュニケーション

# TOPICS

(2020年6月)

## 経済産業省 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」 2013年度に続いて2度目の受賞

経済産業省が特定分野での高いシェアや国際競争力を持つ企業を認定する「グローバルニッチトップ企業100選」(2013年度創設)  
2度目となる2020年版では、国際情勢が変化する厳しい経営環境の中でもニッチ分野で勝ち抜いている企業が113社選定され、当社は2013年度に続いて受賞(連続受賞は計13社)

### 選考のポイント

- ・世界シェアと利益の両立
- ・技術の独自性と自立性
- ・サプライチェーン上の重要性



# TOPICS

(2020年8月)

## ハイパワー恒温(恒湿)器 ARシリーズラインアップを拡充

急速温度変化タイプとして新たに4器種を発売  
シリーズで計32器種をラインアップ

- ・自動車市場の急速温度変化試験ニーズに対応
- ・国際標準IEC規格やドイツ自動車業界規格に適合
- ・有試料での温(湿)度サイクル試験が可能



ハイパワー恒温(恒)器ARシリーズ 急速温度変化タイプ  
(左: 10℃/分1100L、15℃/分680L)

(2020年6月)

## バッテリー安全認証センターに 大型試験装置を設置

国内最大規模の温度サイクル試験装置を設置  
大型車載用バッテリーの試験ニーズに対応

- ・2mを超える大型パックシステムの温度サイクル試験が可能
- ・国連規則やISO12405などの国際規格に定められた試験に対応
- ・中国のGB規格への対応を強化するため、中型恒温恒湿槽も増設



大型温度サイクル試験装置

---

Quality is more than a word

ESPEC

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、  
当社が計画・予測したものであります。  
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは  
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは  
ございません。**

**【お問い合わせ先】**

**エスペック株式会社**

**〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6**

**TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795**

**e-mail ir-div@espec.jp**

**コーポレートコミュニケーション部 部長 西谷  
IR担当 中川・大川**